

科目名	義肢装具学（作業療法）演習	担当教員	長南 行浩※ 郷 一紀※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	-------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32E	②					

科目概要	義肢装具のうち、更生用は身体機能を補完・代替し、日常生活や就労・就学のために長期間にわたり継続して使用されるものであり、義肢装具士が製作する。一方、治療用装具・訓練用仮義肢は治療を目的として使用されるものであり、作業療法士が製作する。本科目では、特に作業療法と関連の深い義手を中心に学習し、治療用装具として製作する機会の多いスプリントについて製作演習を行い、対象者の機能障害の改善や代償に対する基本的な技術を習得する。また、対象者が使用していることが考えられる義足についても触れる。
学習目標	① 基本的なスプリントが製作できる。 ② 義手・義足の基礎知識について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	ガイダンス スプリント作成演習(1)	カックアップスプリント(1)	カックアップスプリントの製作工程が実践できる。	長南
2	スプリント作成演習(2)	カックアップスプリント(2)	カックアップスプリントを製作することができる。	長南
3	スプリント作成演習(3)	背側保護スプリント(1)	背側保護スプリントの製作工程が実践できる。	長南
4	スプリント作成演習(4)	背側保護スプリント(2)	背側保護スプリントを製作することができる。	長南
5	スプリント作成演習(5)	ナイトスプリント(1)	ナイトスプリントの製作工程が実践できる。	長南
6	スプリント作成演習(6)	ナイトスプリント(2)	ナイトスプリントを製作することができる。	長南
7	スプリント作成演習(7)	RIC スプリント(1)	RIC スプリントの製作工程が実践できる。	長南
8	スプリント作成演習(8)	RIC スプリント(2)	RIC スプリントを製作することができる。	長南
9	スプリント作成演習(9)	指伸展ダイナミックスプリント(1)	指伸展ダイナミックスプリントの製作工程が実践できる。	長南
10	スプリント作成演習(10)	指伸展ダイナミックスプリント(2)	指伸展ダイナミックスプリントを製作することができる。	長南
11	スプリント作成演習(11)	総括	スプリントのチェックアウトができる。	長南
12	義手の基礎知識(1)	義手の種類と適応	義手の種類と適応について理解する。	長南
13	義手の基礎知識(2)	義手のチェックアウト	義手のチェックアウトについて理解する。	長南

14	下肢装具	下肢装具の分類と部品 靴型装具、足装具、短下肢装具、長下肢装具、膝装具、股装具	下肢装具の分類と部品について理解する。 下肢装具の種類と適応について理解する。	郷
15	体幹装具	体幹装具の意義・種類・分類 側彎症装具 頸椎装具	体幹装具の意義・種類・分類について理解する。 側彎症装具の種類について理解する。 頸椎装具の種類について理解する。	郷
評価方法		筆記試験（50%）、課題（50%）		
課題に対するフィードバック		1 授業をとおしてフィードバックする。 2 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		日本整形外科学会・著『義肢装具のチェックポイント 第9版』医学書院、2021年		
参考図書		日本作業療法士協会・監『作業療法学全書 改訂第3版 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学』協同医書出版社、2009年 やさききよし・著『手のスプリントのすべて 第4版』三輪書店、2015年 山口淳・監『写真でみる基本スプリントの作りかた（型紙見本付）』医歯薬出版、2007年 坪田貞子・編『動画で分かる！熱可塑性スプリント作製マニュアル基礎から臨床応用まで』三輪書店、2012年		
学習の準備		1（予習）指定した教科書の該当部分を事前に読んでおくこと（15分） 2（予習）義肢装具学（作業療法）を復習しておくこと（15分） 3（復習）講義の理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にしておき、不十分である箇所は次の講義で質問できるよう準備をする（15分）		
オフィスアワー		講義の前後とする。		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験		長南行浩は、民間病院で身体障害領域における義肢装具を使用した作業療法の勤務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。 郷一紀は、義肢製作所で義肢装具制作の勤務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。		